

# 若手職員による県庁働き方改革緊急対策チーム 中間報告（緊急提案）

- 1/14のチーム発足以降、とっとり未来創造タスクフォース、若手職員で「若者・女性にとって魅力的な地方での職場環境づくり」に向けた方策を議論しています。
- この度、2月議会を控え、条例改正等が必要と考えられる方策について緊急提案します。

## 2月議会へ提案いただきたい方策

若者・女性にとって魅力的な雇用形態を実現するため、

- **会計年度任用職員のうち、特に人材確保が課題となっている専門的な職種については、短時間勤務が可能な正職員として採用**

するなど、処遇改善を行っていただきたい。

各職員が生活習慣に合わせた働き方ができるよう多様な選択肢があることは、若者・女性にとって魅力的であることから、

- **選択的週休3日制の一般職員への拡充**

ができるよう、制度改革を行っていただきたい。

在宅勤務制度の本格導入にあたっては、希望する職員が負担感なく在宅勤務できるよう、

- **在宅勤務日数が多い職員への手当支給**

を可能とするよう、制度改革を行っていただきたい。

職員の仕事と子育ての両立を一層応援し、支えていくため、

- **子育て部分休暇の対象年齢拡大**（現行は小学校3年まで）

を図っていただきたい。

### <参考> その他、当チームで議論中の方策

- ・服装の柔軟化（年度内に案を取りまとめ、来年度から実施できるよう準備中）
- ・地域に飛び出す公務員の副業推進
- ・育休取得者の同僚職員への手当支給
- ・子の看護休暇の日数拡大及び条件緩和 等